

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2020No.182】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

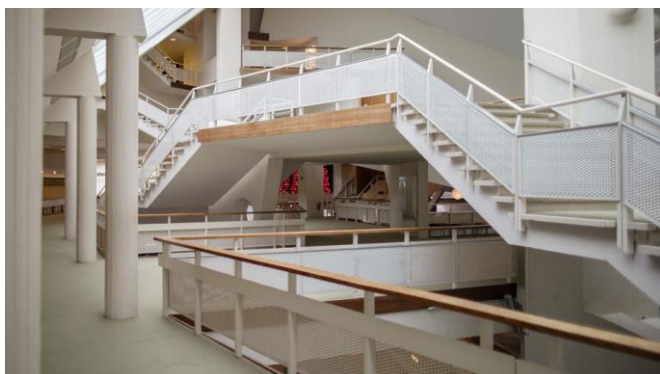
作曲家：ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル他

曲名：合奏協奏曲変ロ長調他

演奏：ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/53018>

2020年6月28日のベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



概要はで次のとおり6月29日の研究室日誌で報告しています。

BPODCHのサイトでベルリンフィルによる、ザ・ベルリンフィル・シリーズの無料中継のアナウンスがありました。今回は、バロック協奏曲集と題して、無観客公演のライブです。

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル

合奏協奏曲変ロ長調

アントニオ・ヴィヴァルディ

ピッコロ、弦楽と通奏低音のための協奏曲ハ長調

エゴール・エゴルキン(ピッコロ)

アントニオ・ヴィヴァルディ

ファゴット、弦楽と通奏低音のための協奏曲ホ短調

シュテファン・シュヴァイゲルト(ファゴット)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

ブランデンブルク協奏曲第3番ト長調

ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル

ハープ、弦楽と通奏低音のための協奏曲変ロ長調

マリー＝ピエール・ラングラメ(ハープ)

アントニオ・ヴィヴァルディ

《調和の靈感》より 2つのヴァイオリン、弦楽と通奏低音のための
協奏曲イ短調

ドリアン・ジョジ(ヴァイオリン)

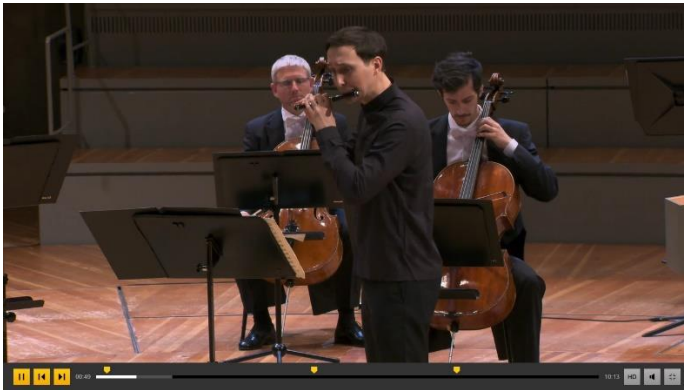
ライマー・オルロフスキー(ヴァイオリン)

ヨハン・セバスティアン・バッハ/ジョナサン・ケリー(オーボエ)

プログラム

コロナ禍により、大きな編成が求められる古典派とロマン派の協奏曲を上演するのは困難な状況にあります。それゆえ、今回はコンパクトな編成でバロック時代の 3 人の巨匠、バッハ、ヘンデル、ヴィヴァルディが書いた協奏曲を特集します。ソリストは、ノア・ベンディックス=バルグリー(ヴァイオリン)、ジョナサン・ケリー(オーボエ)、マリー=ピエール・ラングラメ(ハープ)、シュテファン・シュヴァイゲルト(ファゴット)、エゴール・エゴルキン(ピッコロ)。独奏楽器と室内オーケストラによる華やかな対話をお楽しみください。







この種のパロック協奏曲はイタリアの古楽アンサンブルやドイツの古楽アンサンブルでお馴染みですが、ベルリンフィルが演奏すると、それらとはまた違った味わいを聴かせてくれます。

イタリアの古楽アンサンブルは明るく華やかで、ドイツの古楽アンサンブルは陰影のある演奏ですが、ベルリンフィルの場合は、爽やかで透明度の高い演奏です。どのパートも古楽アンサンブル顔負けの技量で十分に楽しませてくれました。

以上